

平成28年度福岡市立学校教員採用候補者選考試験における選考について (高等学校)

I 本市の求める教員像

本市の教員採用候補者選考試験では、次の「教員像」を基本として選考を行った。

- 公務員としての自覚と高い倫理観，教育者としての情熱と強い使命感を持つ人
- 広く豊かな教養と社会性を備え，教育専門家としての確かな力量を持つ人
- 心身ともに健康で，子どもへの愛情と豊かな人間性を持つ人

II 選考基準

1 第1次試験の選考

(1) 各試験科目の配点

選考区分	教科(科目)	教職 教養	専門 教科	一般 教養	論 文	満 点
一般選考	公 民 理科(物 理) 工業(機 械) 工業(建 築)	50点	75点	50点	—	175点
特別選考	同 上	—	(※1)		50点	100点

(※1) 社会人等特別選考の専門教科は、「不可とする基準」においてのみ用いる。

(2) 第1次試験の合格者数

教科(科目)	合格者予定数
公 民 理科(物 理) 工業(機 械) 工業(建 築)	採用予定者数の4倍程度

※合格予定者数は一般選考と特別選考を合わせた数

(3) 選考方法

特別選考

- 各試験科目（一般教養を除く）について、不可とする基準（不可の試験科目が一つでもある場合は不合格となるもの）を設定し、全ての科目で基準に該当しない者を合格とする。

【不可とする基準：次のランクの場合は不可とする】

選考区分	論文
共通	C・Dランク

○論文ランク(選考区分共通)

ランク	説明
Aランク	優れている
Bランク	標準を上回っている
Cランク	論旨，論文構成等がやや不十分である
Dランク	論旨，論文構成等が不十分である

※社会人等特別選考の専門教科の「不可とする基準」は、一般選考と同様とする。

一般選考

- 合格予定者数から特別選考における合格者数を除いた数を一般選考合格者数とする。

ア 教職教養免除者の選考

- 試験科目の免除を受けない者を含む一般選考受験者を、共通の試験科目である「専門教科」及び「一般教養」の総得点の高い者から順に並べ、上位から一般選考合格者数までの順位内にある者のうち、教職教養免除者を合格とする。

イ 試験科目の免除を受けない者の選考

- 試験科目の免除を受けない者を総得点（※1）の高い者から並べ、上位から、一般選考合格者数からアで合格となった数を除いた数までの順位内にある者を合格とする。

※1 II1(1)に挙げているすべての試験科目の合計点

ウ 試験科目における「不可とする基準」の設定

- 各試験科目について、不可とする基準を設定する。

【不可とする基準：基準点未満の場合は不可とする】

教科(科目)	教職教養	専門教科
公民	17点	31点
理科(物理)		28点
工業(機械)		36点
工業(建築)		28点

2 第2次試験の選考

(1) 各試験科目の配点

教科(科目)	面接	実技
公民	120点	10点
理科(物理)		50点
工業(機械)		100点
工業(建築)		100点

(2) 選考方法

- ア 採用区分ごとに面接得点の高い者から順（イに該当するものを除く。）に並べ、得点状況などを勘案しながら、区分ごとに合格者を決定する。
- イ 試験科目における「不可とする基準」の設定
- 面接及び実技については、不可とする基準を設定する。

【不可とする基準：次のランクの場合は不可とする】

採用区分(教科等)	面接	実技
公民	C・Dランク	Cランク
理科(物理)		
工業(機械)		
工業(建築)		

○面接ランク(採用区分共通)

ランク	説明
Aランク	優れている
Bランク	標準的である
Cランク	標準をやや下回る
Dランク	標準を下回る

○実技ランク(採用区分共通)

ランク	説明
Aランク	標準を上回る
Bランク	標準的である
Cランク	標準を下回る

Ⅲ 各試験科目の評定及び問題等の閲覧

1 第1次試験

(1) 教職教養・専門教科・一般教養問題等の閲覧

問題、解答及び設問ごとの配点は、平成27年11月上旬以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

(2) 論文（特別選考）の評定

論文の試験問題は、平成27年11月上旬以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

試験科目	評定の観点
論文	○ 教員としての適性について、意欲、力量、姿勢、論文構成力などの観点から評定する。

2 第2次試験

(1) 面接試験の評定

模擬指導の問題（例）は、平成27年11月以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

試験科目	評定の観点
面接	○ 「本市が求める教員像」の要素を基本とし、主としてコミュニケーション能力、思考的能力、情緒安定性、対人関係構築力、責任感、積極性などの観点から、教員としての資質・適性、人物を総合的に評定する。

(2) 実技の評定

実技の実施要項は、平成27年11月以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

試験科目	評定の観点
公民実技	① 各国の経済発展に関する入試問題の解説授業 基本的授業力及び教科指導力の観点から評定する。
理科（物理）実技	① 「電熱線にかかる電圧を変えて、電流の変化を調べる実験」についての説明及び演示実験を交えた模擬授業 基本的授業力及び実験器具の使用法、実験技能の観点から評定する。 ② 力学的エネルギーの保存則と動摩擦力に関する入試問題の解説授業 基本的授業力及び教科指導力の観点から評定する。
工業（機械）実技	① 機械に関する模擬授業2題 基本的授業力及び安全指導に対する知識の観点から評定する。
工業（建築）実技	① 建築に関する模擬授業2題 基本的授業力及び安全指導に対する知識の観点から評定する。